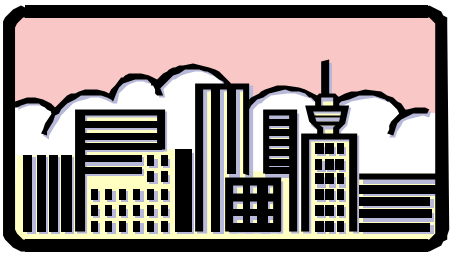
アビリア 自治会
第９１号　　2004年 2月17日
管理組合・自治会ホームページ：//tutuji.net　メール：info@tutuji.net

みんなで造ろう住みよい街、明るい団地

－モリタウンの増改築計画について－



昨年の１２月中旬、大規模小売店舗立地法に基づく「モリタウン増改築計画」についての地元説明会が、昭和飛行機(株)によりメッセ昭島に於いて行われました。この計画は、エスパ、モリタウンが入っている建物の東側にある、仲見世館及び駐車場の一部及びラオックスを撤去して屋上駐車場付２階建ての新館（モール棟）を建てるものです。それに伴い、駐車場の出入り口も現在より増え、エスパ北側の道路にも車の出入り口ができます。また、エスパの営業時間も既に午前９時から夜１０時までに、前後１時間づつ延長されています。工事は始まっており、代替の臨時駐車場が向かい側に作られたことは、皆さん既にご承知のとおりです。完成は今年の１１月１日です。この地区は更にメッセ昭島の建物にホームセンター（カインズホームが有力）が入り、臨時駐車場の場所には映画館群の建設も予定されているようですが、まだ正式な契約はされていないとのことで、具体的な説明はありませんでした。今後この地域では交通渋滞などが心配されます。２月に行なわれた近隣自治会と市との懇談会でもこの問題が取り上げられました。将来､昭和飛行機敷地内を通って昭島駅西の踏み切りを渡る道が平成１８年３月頃開通の予定ですが、１１月１日の開店には間に合いません。また、浸透性舗装、雨水の利用、緑地面積の確保などを指導して欲しいと要請がありました。１２月の説明会では地元の人からも大きな反対はなく終わりましたが、今後この地区が大きく変貌してゆくことは確かなようです。当自治会では、「暮らしやすい団地」の視点から、再開発が周辺環境に悪影響を及ぼすことがないよう見守って行きたいと考えています。

団地の植物について　　－ 投 稿 －

－　裸地対策は住民みんなの手で　－

この緑豊かな団地を誇りに思っておられる方も以外に多いのではないでしょうか。それに応えるべく、管理組合も対策に心を砕き、いろいろな緑化対策を施していることは皆様既にご存じのとおりです。そしてそれらの対策のひとつに、樹木の下にむき出しになってしまった裸地問題があります。現在その対策に、おかめ笹や熊笹、りゅうのひげ、やぶらん、どうだんつつじ、つつじなどが植えられていますが、この裸地対策の一環として次のことを併せて取り組んで頂ければ意義のあることと考え、意見を述べさせていただきました。

道の傍におかめ笹など垣根になるものを植えると、周辺の見通しが悪くなり、道を狭く限られたものにしてしまい、災害時など、とっさの時の逃げ道をなくしてしまう恐れがあります。また、剪定費用もかさみます。そこで提案なのですが、裸地対策は住民みんなの手で行うことにしたらいかがでしょう。たとえば、ユキノシタやシャガ、クリスマスローズなど、日陰植物もいろいろとありますので、楽しく植えて、手入れをしていけたらと考えます。

また、住民がベランダで持て余している植物など、寄付していただけるものなどを使えば経費も軽減できますし、植物への関心も自然と違ってくるのではないでしょうか。この団地も高齢化が進んでいますので、少しでも住まいの近くで土とふれあい、人との触れ合いを持てる場があることは本当に大切なことです。そして、いつも誰かが外で作業をしていれば団地内の防犯にも役に立ち、子ども達との挨拶や会話によって連帯感もうまれることでしょう。

季節ごとの草花が咲き乱れる明るい団地ともなれば散歩の楽しみも増し健康増進にもつながります。

裸地対策でも多くの住民ボランティアが活躍し、互いに支えていけるようになれば素晴らしいですね。

（園芸同好会会長　牛腸とも）